

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			原則として子ども2名に対し指導員1名配置 としているが、個別の状況に応じて1対1で の対応をしているケースもある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか		○		内装をおこなう場合はバリアフリー化してい るが、既存建物の場合は構造上の限界があり、 バリアフリー化できていない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	○			目標や問題について、日々の報告のほか、 月例ミーティングで詳細確認をし、改善計画 を立て、全員に指導する仕組みになっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	○			当事業所の業務実態に合わせたアンケートを 作成。匿名性を高めかつ回収率を上げるため 無記名封緘して直接回収している。 集計結果はホームページに公開するほか、 利用者様全員に印刷配布している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○			新任の初任者研修や月例ミーティングを利用 しての研修のほか、年7日間の集中研修を実施 している。
適切な支 援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか		○		支援終了後は気づいた点の報告はおこなうが、 その場での打ち合わせは生産性が低いため、 原則としておこなわない。責任者が報告内容 を確認し、対応方法などを決定して、次回支 援開始前に打ち合わせとしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校側から直接報告をいただけない場合は、保護者のかたを通じて情報を得るようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	児童発達支援事業所との情報共有はおこなっているが、保育所・幼稚園等とはおこなっていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、事業所ごとに「キッズ通信」を発行し、連絡事項・活動報告・活動計画をお知らせしている。支援中の写真も、毎月10～30枚は掲載するようにしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		外国籍で日本語が伝わりにくい、障害のあり通常の連絡がむずかしい、といった場合は、伝達可能な手段に個別に切り替えている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	買い物体験で、近隣商店様にご協力いただいたの活動を取り入れている。また中高生については、ボランティアや職場体験など。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、室内でのシェイクアウトや、広域避難所への往復をおこなっている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットだけでなく「プチヒヤリ」（想像されるリスク）も集計し、個々に具体的な対策を講じている。